

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について.....	120
電話帳を登録する.....<電話帳登録>	121
表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する.....	125
グループ名を変更する.....<グループ設定>	126
電話帳を利用して電話をかける.....<電話帳検索>	127
電話帳を修正する.....<電話帳修正>	130
電話帳を削除する.....<電話帳削除>	131
電話帳の登録状況を確認する.....<電話帳登録件数>	132
電話帳を使いこなす.....	132
電話帳便利機能を確認／解除する.....<電話帳便利機能>	135
少ないダイヤル操作で電話をかける.....<ツータッチダイヤル>	136
音声で電話帳を呼び出す.....<ボイスダイヤル>	136
電話帳データをセンターに保存する.....<電話帳お預かりサービス>	139

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末（本体）の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。上手に使い分けて電話帳の管理にお役立てください。

項目		FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
登録できる件数		電話帳全体で最大700件※	電話帳全体で最大50件
登録内容	名前（フリガナ）の登録	1つの電話帳に1件のみ登録可能	1つの電話帳に1件のみ登録可能
	グループ分け	00～19の20グループに分類可能	00～10の11グループに分類可能
	電話番号の登録	電話帳1件に4番号まで登録可能 (ただし、電話帳全体で登録可能な電話番号は700番号までです。)	電話帳1件に1番号まで登録可能 (電話帳全体で登録可能な電話番号は50番号までです。)
	メールアドレスの登録	電話帳1件に3アドレスまで登録可能 (ただし、電話帳全体で登録可能なアドレスは700アドレスまでです。)	電話帳1件に1アドレスまで登録可能 (電話帳全体で登録可能なアドレスは50アドレスまでです。)
	アイコンの設定	登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに1つずつ設定可能	設定不可
	住所（郵便番号）	1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	誕生日	1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	メモ	1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	静止画	最大100件、1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
	キャラ電	最大100件、1つの電話帳に1件のみ登録可能	登録不可
メモリ番号	000～699のメモリ番号を設定可能	なし	
電話帳検索		フリガナ、名前、電話番号、アドレス（メールアドレス）、メモリ番号、グループ、行、ツータッチダイヤル、の8通り	フリガナ、名前、電話番号、アドレス（メールアドレス）、グループ、行、の6通り
ツータッチダイヤル		使用可能（メモリ番号000～009に登録した場合）	使用不可
電話帳便利機能	音声/テレビ電話着信音	登録した電話番号、またはグループごとに設定可能	設定不可
	着信バイブレータ		
	着信イルミネーション		
	着信イメージ		
	応答メッセージ		
	メール着信音	登録した電話番号、メールアドレス、またはグループごとに設定可能	
	メールバイブレータ		
メールイルミネーション			
テレビ電話通信速度	登録した電話番号、またはグループごとに設定可能		
キャラ電設定			
電話帳指定設定	指定発信制限	登録した電話番号ごとに設定可能	設定不可
	指定着信拒否		
	指定着信許可		
	指定転送でんわ		
	指定留守番電話		
シークレットコードの設定		登録した電話番号ごと、メールアドレスごとに設定可能	設定不可
シークレットモード、シークレット専用モードでの登録		登録可能	登録不可

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。
※各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。

電話帳を登録する

FOMA端末（本体）またはFOMAカードの電話帳に登録します。

1 待受画面▶▶▶電話帳登録▶▶▶本体・FOMAカード（UIM）

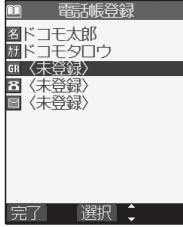
名前を入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

- 「▶
」の操作を行っても電話帳機能の選択画面が表示されます。
- 電話帳の一覧画面で（新規）を押しても登録先の選択画面が表示されます。
- FOMAカードについてはP.40参照。

2 以下の操作を行う




























FOMA端末（本体）の場合



FOMAカードの場合

項目	操作	補足	登録できる電話帳
名 (名前)	▶▶▶名前を入力▶▶▶ ●FOMA端末（本体）の場合、全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。絵文字も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10文字まで、半角英数のみなら21文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。）	相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 名前入力後は続けてフリガナを入力します。	FOMA端末（本体） FOMAカード
フリガ (フリガナ)	▶▶▶フリガナを入力▶▶▶ ●FOMA端末（本体）の場合、半角32文字まで入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12文字まで、半角英数のみなら25文字まで入力できます。（半角カタカナは入力できません。）	フリガナを半角のカタカナ、英字、数字で入力します。 ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「わ（小文字）」、「ワ（小文字）」を入力すると、フリガナには「ワ（半角大文字）」（FOMA端末（本体）の場合）、「ワ（大文字）」（FOMAカードの場合）として表示されます。	FOMA端末（本体） FOMAカード
GR (グループ)	▶▶▶グループを選択▶▶▶	FOMA端末（本体）には「グループ00」～「グループ19」の20のグループ、FOMAカードには「グループ00」～「グループ10」の11のグループがあります。 ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合は、自動的に「グループ00」に登録されます。	FOMA端末（本体） FOMAカード

項目	操作	補足	登録できる電話帳
 (電話番号)	<p>▶電話番号を入力▶</p> <p>FOMAカードの場合、アイコンは選択できません。電話番号の設定が終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電話番号は市外局番から入力します。 ●FOMA端末（本体）の場合、最大で26桁まで入力できます。 ●「FOMAカード（青色）」には20桁まで入力できます。 ●「FOMAカード（緑色）」には26桁まで入力できます。 ●を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ（p）を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ（p）を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ（p）は登録されません。 <p>▶アイコンを選択▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FOMA端末（本体）に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「 <追加登録>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「 <追加登録>」を選択します。 	<p>FOMA端末（本体）には電話帳1件に4番号まで登録できます。それぞれの電話番号に「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。</p> <p>FOMAカードには電話帳1件に1番号まで登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「*」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「#」を使用した番号も登録できます。 <ul style="list-style-type: none"> ●設定したアイコンは電話帳詳細画面やリダイヤル詳細画面、発着信履歴詳細画面などに表示されます。 	FOMA端末（本体） FOMAカード
 (メールアドレス)	<p>▶メールアドレスを入力▶</p> <p>FOMAカードの場合、アイコンは選択できません。メールアドレスの設定が終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メールアドレスは半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 <p>▶アイコンを選択▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FOMA端末（本体）にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「 <追加登録>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「 <追加登録>」を選択します。 	<p>FOMA端末（本体）には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。それぞれのメールアドレスに「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。</p> <p>FOMAカードには電話帳1件に1アドレスまで登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FOMA端末（本体）にはシーケレットコードも設定できます。（P.134参照） <ul style="list-style-type: none"> ●設定したアイコンは電話帳詳細画面や送受信アドレス詳細画面などに表示されます。 	FOMA端末（本体） FOMAカード
 (住所)	<p>▶郵便番号を入力▶▶住所を入力▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●郵便番号は7桁まで、住所は全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。 ●住所には絵文字も入力できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●郵便番号に「〒」や「-」（ハイフン）は入力できません。 	FOMA端末（本体）
 (誕生日)	<p>▶誕生日を入力▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誕生日は1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。 	—	FOMA端末（本体）
 (メモ)	<p>▶メモを入力▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メモは全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。 ●絵文字も入力できます。 	—	FOMA端末（本体）

項目	操作	補足	登録できる電話帳
 (静止画)	▶静止画選択▶フォルダを選択▶  ▶静止画を選択▶  ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。静止画の設定が終了します。	登録した静止画は、電話帳の相手から着信があったときに表示されます。 ●登録できる静止画は、画像サイズがVGA (640×480) 以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。 ●Sub-QCIF (128×96) サイズより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●QCIF (176×144) サイズより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。	FOMA端末 (本体)
 (キャラ電)	▶キャラ電選択▶キャラ電を選択▶  ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。キャラ電の設定が終了します。	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 ●Sub-QCIF (128×96) サイズより大きいキャラ電を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。	FOMA端末 (本体)
 (メモリ番号)	▶メモリ番号を入力▶  ●「000」～「699」の3桁を入力します。	●「メモリ番号」には、あらかじめ「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。 「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。	FOMA端末 (本体)

3 (完了) を押す

- 名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
- シークレットモード中にFOMA端末 (本体) の電話帳に登録する場合は、電話帳をシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
シークレット専用モード中はシークレット登録されます。

■FOMA端末 (本体) の電話帳に登録できないときは

- 入力したメモリ番号がすでに電話帳に登録されていたときには、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、入力したデータが上書き登録されます。「NO」を選択すると、元のメモリ番号のデータはそのまま、電話帳の登録/編集画面に戻ります。別のメモリ番号を入力してください。
- 「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで、シークレットデータとして登録した電話帳のメモリ番号と重複したときは登録できません。別のメモリ番号を入力してください。

■編集中の電話帳について**電池が切れたときは**

電話帳の編集中に電池切れアラームが鳴ったときは、「電池充電してください」という画面（P.47参照）が表示されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に保存されますので、充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、以下の方法で中断した電話帳編集の続きを行ってください。

1. 待受画面▶▶▶電話帳登録▶▶▶本体・FOMAカード（UIM）

- 編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。

2. 再編集


- 新しく他の電話帳を登録するときは「新規」を選択します。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。

3. 電話帳編集の続きを行う

- 編集中的数据として登録されているのは一番新しい1件のみです。
- 編集中的数据を呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中的数据は消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

電話帳の編集中に電話がかかってきたり、メールを受信したときでも、マルチタスク機能が動くため編集中の電話帳のデータはそのままです。

を1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

■お願い■

- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（P.337参照）や電話帳お預かりサービス（P.139参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.435参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末（本体）やFOMAカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中・発信履歴表示中・着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中・受信アドレス一覧表示中	電話番号・メールアドレス
サイト表示中・画面メモ表示中	電話番号・メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中・メールの本文表示中	電話番号・メールアドレス
バーコードリーダーやテキストリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号・メールアドレス
下線のついた電話番号やメールアドレスのテロップが設定されているiモーションの再生終了時・停止中	電話番号・メールアドレス
静止画一覧表示中・静止画再生中	静止画

1 登録したい項目を表示／選択▶ (機能) ▶ 電話帳登録

- 受信メールの送信元や同報先、送信メールの宛先を電話帳に登録する場合は、「アドレス登録」を選択します。送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、送信元・同報先・宛先を選択する画面が表示されます。○で登録したいメールアドレスや電話番号を選択し、●を押します。
- テキストリーダーの読み取り結果を電話帳に登録する場合は、「電話番号登録」または「メールアドレス登録」を選択します。
- 静止画を電話帳に登録する場合は、「電話帳ピクチャ登録」を選択します。
- バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。
- 登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。

2 本体・FOMAカード (UIM)

新規登録... 新たに電話帳に登録します。P.121手順2へ進みます。

追加登録... すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

3 検索方法を選択▶ (検索) ▶ 電話帳を検索

4 登録する電話帳を選択▶ (選択) ▶ (選択)



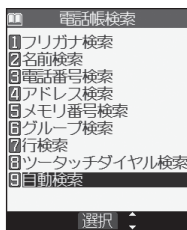
電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。

- 電話帳の他の項目を修正する場合は、P.121手順2参照。
- FOMA端末（本体）の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

5 (完了) ▶ YES

- プッシュトークのリダイヤル、発信履歴、着信履歴をFOMA端末（本体）の電話帳に登録した場合、プッシュトーク電話帳にも登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択する（複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択し、●を押す）とプッシュトーク電話帳にも登録されます。
- FOMAカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

■「自動検索」について



iモードサイトのページなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレスなど）に名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの情報が付加されているときは、手順3の電話帳検索画面に「自動検索」が表示されます。

「自動検索」を選択すると同じ名前、フリガナの電話帳を検索できます。

お知らせ

- リダイヤル、発信履歴の発信者番号通知の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186/184」を付けて登録してください。
- 電話帳に登録できる文字数を超えた文字は削除されます。また、登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- 電話番号やメールアドレス以外の反転表示された情報を使って電話帳登録できる場合もあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

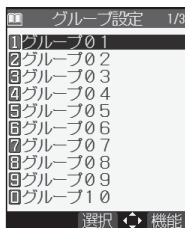
<グループ設定>

2 6 は
ABC MNO


グループ名を変更する

電話帳を、「会社」や「友達」のようにおつき合いごとにグループ分けしたり、「野球」や「陶芸」のように趣味で分けたりと、お客様のアイデア次第で用途別に分けられた数冊の電話帳として活用できます。

1 待受画面▶①▶グループ設定▶グループを選択▶②



グループ設定画面

- FOMAカードのグループには「」が表示されます。
- 「グループ00」のグループ名は変更できません。

2 グループ名を入力▶③

- 全角10文字まで、半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角/半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角/半角問わず最大10文字まで登録されます。

グループ設定画面の機能メニュー

1 グループ設定画面▶④(機能)▶以下の操作を行う

機能メニュー	操作	補足
グループ名編集	P.126手順2へ進みます。	-

機能メニュー	操作	補足
グループ便利機能	<ul style="list-style-type: none"> ・音声/テレビ電話着信音 (P.144参照) ・着信バイブレータ (P.146参照) ・着信イルミネーション (P.165参照) ・着信イメージ (P.155参照) ・応答メッセージ (P.83参照) ・メール着信音 (P.144参照) ・メールバイブレータ (P.146参照) ・メールイルミネーション (P.165参照) ・テレビ電話通信速度 (P.91参照) ・キャラ電設定 (P.95参照) 	各機能をグループごとに指定します。
グループ名初期化	▶YES	グループ名をお買い上げ時のグループ名に戻します。

お知らせ

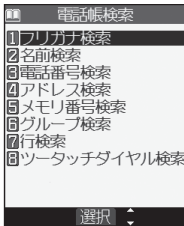
- グループ名を変更していないときや、グループ名を削除(初期化)したときは、FOMA端末(本体)の電話帳の場合、「グループ01」～「グループ19」の表示になります。FOMAカードの電話帳の場合、「グループ01」～「グループ10」の表示になります。
- グループ名を初期化しても、グループに設定された「グループ便利機能」は解除されません。
- 着信動作の優先順位について
 - ・着信音 (P.143参照)
 - ・バイブレータ (P.145参照)
 - ・着信画像 (P.155参照)
 - ・着信イルミネーション (P.163参照)

<電話帳検索>

電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳は8つの検索方法で呼び出します。










































1 待受画面▶◉▶以下の操作を行う






電話帳検索画面

- 一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。を押すと電話帳検索画面が表示されます。
- ▶「電話帳検索」の操作を行っても電話帳検索画面が表示されます。

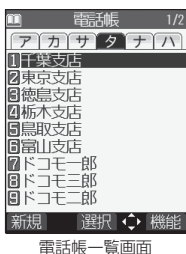
項目	操作	補足
フリガナ検索	▶フリガナの一部を入力▶◉	相手のフリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。
名前検索	▶名前的一部分を入力▶◉	相手の名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。
電話番号検索	▶電話番号の一部を入力▶◉ ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、◉を押しても電話帳一覧画面が表示されます。	相手の電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。
アドレス検索	▶メールアドレスの一部を入力▶◉	相手のメールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。

項目	操作	補足												
メモリ番号検索	<p>▶メモリ番号を入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「000」～「699」の3桁を入力します。 ●待受画面で^{A999}()を押しして^{OK}()を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話(テレビ電話)をかけることができます。 	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。												
グループ検索	<p>▶グループを選択▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループの一覧画面で^{A999}()(^{機能})を押すと、「グループ設定」の機能メニューが表示されます。 	指定したグループに登録されている電話帳をすべて検索します。												
行検索	<p>▶検索したい行のボタンを押す</p> <table border="0"> <tr> <td>...ア行</td> <td>...ハ行</td> </tr> <tr> <td>...カ行</td> <td>...マ行</td> </tr> <tr> <td>...サ行</td> <td>...ヤ行</td> </tr> <tr> <td>...タ行</td> <td>...ラ行</td> </tr> <tr> <td>...ナ行</td> <td>...ワ、ヲ、ン</td> </tr> <tr> <td>...英字</td> <td>...数字、記号</td> </tr> </table>	 ...ア行	 ...ハ行	 ...カ行	 ...マ行	 ...サ行	 ...ヤ行	 ...タ行	 ...ラ行	 ...ナ行	 ...ワ、ヲ、ン	 ...英字	 ...数字、記号	フリガナの行ごとに電話帳を検索します。
 ...ア行	 ...ハ行													
 ...カ行	 ...マ行													
 ...サ行	 ...ヤ行													
 ...タ行	 ...ラ行													
 ...ナ行	 ...ワ、ヲ、ン													
 ...英字	 ...数字、記号													
ツータッチダイヤル検索	—	メモリ番号000～009の電話帳一覧を表示します。 ●未登録やシークレット設定中の電話帳は<--->で表示されます。												

2 電話帳を選択▶▶^{A999}()または^{OK}()



- 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面で^{OK}()を押して電話番号を選択します。
- ^{OK}()を押すとテレビ電話発信、^P()を押すとプッシュトーク発信します。




■一覧画面について



電話帳一覧画面

「フリガナ検索」「行検索」「メモリ番号検索」「グループ検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。「フリガナ検索」「行検索」の場合はフリガナの行ごとに、「メモリ番号検索」の場合はメモリ番号の100番ごとに、「グループ検索」の場合はグループごとに分類されます。

を押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。ただし、1つのタブ内に10件以上の電話帳がある場合は、を押すと前後のページが表示されます。

- 一覧画面で^{A999}()を押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。また、^{OK}()を押すとテレビ電話発信、^P()を押すとプッシュトーク発信します。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。

■検索順について

電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索します。

「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、・・・ン)」→「英字(A、a、B、b、・・・Z、z)」

→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」



ただし、「フリガナ検索」「行検索」の場合は、次のような順で検索します。

「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、・・・ン)」→「英字(A、a、B、b、・・・Z、z)」→「フリガナの頭文字がスペースのもの」

→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」

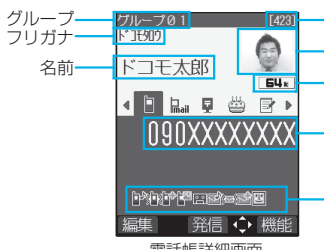
※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索します。

お知らせ

- 電話帳検索画面では、前回操作したときに選択した検索方法が、あらかじめ選択されています。
- 検索する電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳の両方が一覧表示されます。
- FOMAカードの電話帳には、一覧画面に「」が表示されます。
- FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、「メモリ番号検索」「ツータッチダイヤル検索」は利用できません。
- 「グループ検索」「ツータッチダイヤル検索」以外の検索方法で何も入力せずに  を押しと、電話帳全検索となり、すべての電話帳の一覧が表示されます。
- 「フリガナ検索」「メモリ番号検索」で入力した条件に該当する電話帳がない場合は、条件に最も近い電話帳が表示されます。

■電話帳の詳細を確認するには

1. 詳細を確認する電話帳を表示 



グループ フリガナ 名前

グループ01 ドコモ太郎

メモリ番号 静止画










64k 32k : テレビ電話通信速度

090XXXXXXXXX

電話帳便利機能の設定状況





編集 発信 機能

電話帳詳細画面 (電話番号)

-  : 音声/テレビ電話着信音
-  : 着信バイブレータ
-  : 着信イルミネーション
-  : 着信イメージ
-  : 応答メッセージ
-  : メール着信音
-  : メールバイブレータ
-  : メールイルミネーション
-  : キャラ電設定



お知らせ

- 電話番号やメールアドレスが複数登録されている場合でも、 を押して各項目を表示できます。
- メールアドレスを表示中に  を押しと、宛先欄にメールアドレスが入力された i モードメールを作成します。P.250手順3へ進みます。
- キャラ電を表示中に  を押しと、キャラ電プレーヤーでキャラ電を表示します。
- テレビ電話通信速度のアイコン、電話帳便利機能の設定状況のアイコンは、電話帳便利機能が設定されていない場合は表示されません。
- FOMAカードに登録された電話帳の場合、メモリ番号は表示されず、「 FOMAカード」と表示されます。

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面▶☒(編集)



2 修正したい項目を選択▶●▶内容を修正

- 電話帳の修正方法についてはP.121手順2参照。
- FOMA端末（本体）の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録できます。


3 ☒(完了)▶YES

- FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。
- シークレットモード中にFOMA端末（本体）の電話帳を編集した場合は、電話帳をシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。シークレット専用モード中はシークレット登録されます。

電話帳を削除する





電話帳詳細画面から削除する

1 電話帳詳細画面▶ (機能) ▶ 電話帳削除 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作	補足
電話番号削除・ メールアドレス削除・ 住所削除・誕生日削除・ メモ削除・静止画削除・ キャラ電削除	▶ YES ● 詳細画面で  を押して削除する項目を表示します。表示した電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。	各項目を削除します。
1件削除	▶ YES	—

電話帳一覧画面から削除する

1 電話帳一覧画面▶ (機能) ▶ 電話帳削除 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作	補足
1件削除	▶ YES	—
選択削除	▶ 削除したい電話帳にチェック ▶  (完了) ▶ YES ●  を押すことに「 <input type="checkbox"/> 」と「 <input checked="" type="checkbox"/> 」が切り替わります。  (機能)を押して「タブ内全選択/全選択/タブ内全選択解除/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ● シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。	—
タブ内全削除	▶ YES	表示しているタブ内のすべての電話帳を削除します。
全削除	▶ 端末暗証番号を入力▶  ▶ YES▶ YES	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。

お知らせ

- 複数の電話番号・メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号・メールアドレスを削除した場合、削除した項目以降の電話番号・メールアドレスの順番は繰り上がって登録されます。
- ボイスダイヤル一覧に登録している電話帳を削除すると、ボイスダイヤル一覧からも削除されます。
- プッシュトーク電話帳に登録している電話帳を削除すると、プッシュトーク電話帳も削除されます。

電話帳の登録状況を確認する

1 待受画面▶電話帳登録件数

本体

電話帳 FOMA端末（本体）に登録されている電話帳の件数を表示します。


シークレット シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されている電話帳の件数を表示します。

静止画 静止画が登録されている電話帳の件数を表示します。

キャラ電 キャラ電が登録されている電話帳の件数を表示します。

ブッシュトーク ブッシュトーク電話帳に登録されている電話帳の件数を表示します。

ボイスダイヤル ボイスダイヤルに登録されている電話帳の件数を表示します。

追加残 ：電話番号があと何件登録できるかを表示します。



：メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。

FOMAカード（UIM）

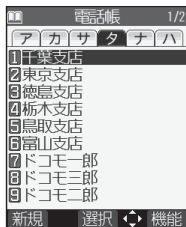
電話帳 FOMAカードに登録されている電話帳の件数を表示します。

- 確認が終われば^hを押します。



電話帳を使いこなす

電話帳一覧画面の機能メニュー

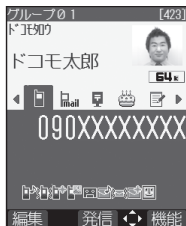
1 電話帳一覧画面▶ (機能) ▶以下の操作を行う



電話帳一覧画面





機能メニュー	操作	補足
ソート	▶ 順番を選択 ▶  ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。	表示される順番を変更します。 ●一覧画面にタブが表示されているときは、ソートできません。
赤外線送信	P.346参照	赤外線で1件送信します。
赤外線全件送信	P.348参照	赤外線で全件送信します。
1件miniSDへコピー	P.342参照	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。
お預かりセンターに接続	P.139参照	お預かりセンターに接続します。
電話帳削除	P.131参照	電話帳を削除します。
シークレット設定・シークレット解除	●「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力し、  を押します。	電話帳をシークレットに設定／解除します。

1 電話帳詳細画面▶ (機能) ▶ 以下の操作を行う



電話帳詳細画面

機能メニュー	操作	補足
発信号設定	P.51参照	発信者番号を通知するかどうかを設定します。
プレフィックス	P.66参照	プレフィックスを付加します。
国際電話発信	P.64参照	国際電話をかけます。
マルチナンバー	P.389参照	相手に通知する番号を選択します。
テレビ電話通信速度	P.91参照	テレビ電話の通信速度を設定します。
電話帳便利機能	<ul style="list-style-type: none"> ・音声/テレビ電話着信音 (P.143参照) ・着信バイブレータ (P.145参照) ・着信イルミネーション (P.165参照) ・着信イメージ (P.155参照) ・応答メッセージ (P.83参照) ・メール着信音 (P.143参照) ・メールバイブレータ (P.145参照) ・メールイルミネーション (P.165参照) ・テレビ電話通信速度 (P.91参照) ・キャブ電設定 (P.95参照) 	各機能を電話番号やメールアドレスごとに指定します。
電話帳指定設定	P.188参照	電話帳に指定機能を設定します。
電話帳編集	P.130手順2へ進みます。	—
電話帳削除	P.131参照	電話帳を削除します。
プッシュトーク電話帳登録	<ul style="list-style-type: none"> ●プッシュトーク電話帳に登録された電話番号が変更される場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。 	プッシュトーク電話帳に登録します。
デスクトップ貼付	P.167参照	デスクトップに貼り付けます。
iモードメール作成	P.250手順3へ進みます。	メールアドレスを宛先としたiモードメールを作成します。
SMS作成	P.289手順3へ進みます。	電話番号を宛先としたSMSを作成します。
赤外線送信	P.346参照	赤外線で1件送信します。
赤外線全件送信	P.348参照	赤外線で全件送信します。
1件miniSDへコピー	P.342参照	miniSDメモリーカードへ1件コピーします。
お預かりセンターに接続	P.139参照	お預かりセンターに接続します。
オート表示	P.157参照	オート表示する電話番号を設定します。

機能メニュー	操作	補足
名前コピー	—	名前をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
電話番号コピー・ メールアドレスコピー・ 住所コピー・誕生日コピー ・メモコピー	<ul style="list-style-type: none"> ●詳細画面でを押してコピーする項目を表示します。表示した電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。 	各項目をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
シークレットコード	<p>▶端末暗証番号を入力▶▶コード設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●詳細画面でを押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを表示させます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。確認が終わればを押します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 <p>▶4桁のシークレットコードを入力▶YES</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。 	<p>シークレットコード登録をしている相手にiモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シークレットコードを設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。
シークレット設定・シークレット解除	P.132参照	電話帳をシークレットに設定／解除します。
FOMAカードへコピー・ 本体へコピー	P.378参照	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピーします。
テレビ電話画像選択	P.101参照	テレビ電話の画像を選択します。
着もじ	P.57参照	着もじメッセージをつけて発信します。

お知らせ

<シークレットコード>

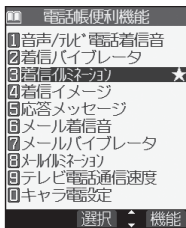
- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

電話帳便利機能を確認／解除する

お買い上げ時 すべて解除

電話帳の電話番号やメールアドレスに設定した「電話帳便利機能」やグループに設定した「グループ便利機能」を確認／解除します。

1 待受画面▶▶電話帳便利機能



電話帳便利機能画面

- 音声／テレビ電話着信音... P.143、P.144参照
- 着信バイブレータ... P.145、P.146参照
- 着信イルミネーション... P.165参照
- 着信イメージ... P.155参照
- 応答メッセージ... P.83参照
- メール着信音... P.143、P.144参照
- メールバイブレータ... P.145、P.146参照
- メールイルミネーション... P.165参照
- テレビ電話通信速度... P.91参照
- キャラ電設定... P.95参照

●設定されている項目には「★」マークが付きま

2 確認したい項目を選択▶

選択した項目によっては、手順2の操作を繰り返して電話帳一覧画面を表示します。

- バイブレータの選択中は、確認のためバイブレータが動作します。通話中は確認のためのバイブレータは動作しません。
- イルミネーションの選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。

3 電話帳を選択▶

電話帳便利機能が設定されている電話番号やメールアドレスが表示されます。

- グループ名の前には「**GB**」が表示されます。
- 電話番号・メールアドレス・グループごとに電話帳便利機能を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号・メールアドレス・グループを選択し、を押して「YES」を選択します。


電話帳便利機能画面の機能メニュー



1 電話帳便利機能画面▶ (機能) ▶以下の操作を行う

機能メニュー	操作	補足
設定確認	P.135手順2へ進みます。	—
設定解除	▶YES	<p><例></p> <p>P.135「電話帳便利機能を確認／解除する」手順1の画面から設定解除した場合は「着信イルミネーション」が設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。</p> <p>P.135手順2で設定解除した場合は各項目に設定されている電話帳とグループがすべて解除されます。</p>

<ツータッチダイヤル>

少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末（本体）の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁とを押すだけで電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタン (0 わん ~ 9 ぐん) ▶  または 

-  を押すとテレビ電話発信、 を押すとプッシュトーク発信します。

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信します。
- 「指定発信制限」を設定したときに、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号が「指定発信制限」に指定されていないときは、ツータッチダイヤルは使用できません。この場合は、設定している指定発信制限を解除するか、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号を指定発信制限に設定する必要があります。
- FOMAカードの電話帳にはメモリ番号がないため、ツータッチダイヤルで発信できません。

<ボイスダイヤル>

音声で電話帳を呼び出す

相手の名前を話すだけで、電話帳を呼び出して電話をかけます。

ボイスダイヤル登録


すでに登録してあるFOMA端末（本体）の電話帳から100件まで登録できます。

1 待受画面▶▶ボイスダイヤル登録▶<新規登録>

ボイスダイヤル一覧画面

2 検索したい行のボタンを押す▶電話帳を選択▶

- ボイスダイヤル一覧に登録されている電話帳には「★」マークが付きます。
- 行検索についてはP.128参照。

3 ボイスダイヤル名を入力▶



- 半角のカタカナを使って22文字まで入力できます。
- 電話帳のフリガナがボイスダイヤル名として表示されます。認識しやすい言葉に修正してください。

お知らせ

- FOMAカードに登録されている電話帳はボイスダイヤル一覧に登録できません。
- 似ているボイスダイヤル名が多く登録されているときやボイスダイヤル名が短いと、認識率が低下し間違ったボイスダイヤル（電話帳）を呼び出すことがあります。この場合、別のボイスダイヤル名で登録をやり直してください。
- ボイスダイヤル名として「ボイスケンサク」と「ボイスセッテイ」は登録できません。

ボイスダイヤル一覧画面の機能メニュー

1 ボイスダイヤル一覧画面▶ (機能) ▶以下の操作を行う

機能メニュー	操作	補足
新規登録	P.136手順2へ進みます。	—
編集	▶ボイスダイヤル名を入力▶  ▶YES ●半角のカタカナを使って22文字まで入力できます。 ●  (編集) を押しても編集できます。	—
1件削除	▶YES	—
全削除	▶YES	—

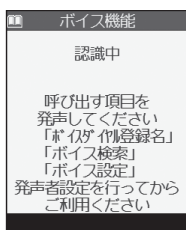
ボイスダイヤル呼出で電話をかける

ボイスダイヤル一覧に登録された電話帳を音声で呼び出します。「音声読み上げ設定」を「ON」に設定して「ボイスダイヤル」にチェックを付けておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 待受画面▶ (1秒以上)

- FOMA端末を開いた状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを1秒以上押しでもボイスダイヤルを呼び出せます。あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定しておいてください。

2 音声認識開始音が鳴ったらボイスダイヤル名を話す



音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。

- 音声認識開始音の音量はレベル2で鳴ります。ただし、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 「ボイス検索」と話すと、使いかたナビが起動します。P.39手順2へ進みます。
- 「ボイス設定」と話すと、ボイス設定の画面が表示されます。(P.138参照)








ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果が表示されます。

- 「ボイスダイヤル自動発信」が「ON」に設定されている場合、ボイスダイヤル自動発信の画面が表示されます。2秒後に自動的に発信します。
- 音声読み上げ時は電話帳に登録されているフリガナ（名前）が読み上げられます。

3 認識結果を選択▶ または

選択されている電話帳の1番目の電話番号に発信します。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても電話をかけることができます。
-  (編集) を押すと電話帳詳細画面が表示されます。電話番号を選択して  または  を押すと音声電話をかけることができます。また、 を押すとテレビ電話発信、 を押すとプッシュトーク発信します。

■音声入力について

ボイスダイヤル名をお話しになるときは次の点にご注意ください。

- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が入力できない場合があります。
- なるべくはっきりと発声してください。
- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、ボイスダイヤル名の発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがらないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。
- 「発声者設定」を変更すると認識率が上がることがあります。

ボイス設定

1



▶ その他 ▶ ボイス設定 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作	補足
ボイスダイヤル自動発信 お買い上げ時 OFF	▶ ON・OFF	ボイスダイヤルで呼び出した電話番号に自動的に電話をかけます。
ボイスイヤホン発信 お買い上げ時 OFF	▶ ON・OFF	平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使ってボイスダイヤル呼出を行います。
発声者設定 お買い上げ時 男性向け	▶ 男性向け・女性向け	発声者の性別を登録し、認識率を上げることができます。自分の性別に合わせて設定します。 ●ここでの設定は、使いかたナビの音声入力時にも有効です。
音声読み上げ設定	P.362参照	音声読み上げを行うように設定します。
音声読み上げ音量	P.363参照	音声読み上げ時の音量を調節します。
音声読み上げ出力先	P.363参照	音声読み上げ時に受話口から音が鳴るように設定します。
音声読み上げ有効設定	P.363参照	平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。


電話帳データをセンターに保存する

FOMA端末内に保存されている電話帳をお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に復元・更新できます。

なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

- 圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、「iモード操作ガイド」をご覧ください。

1 ▶ 電話帳お預かりサービス▶ お預かりセンターに接続▶ 端末暗証番号を入力▶ ▶ YES

- 電話帳一覧画面、電話帳詳細画面では (機内蔵) を押して「お預かりセンターに接続」を選択します。

お知らせ



- FOMAカードの電話帳は保存できません。
- FOMA端末の電話帳が登録できる件数を超えた場合、電話帳データは更新されません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

自動更新

待受画面でお預かりセンターから更新通知を受信したときに、FOMA端末の電話帳を自動で更新するかどうかをお預かりセンターのサイトで設定できます。

- 詳しくは「iモード操作ガイド」をご覧ください。

お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、待受画面に「」(電話帳更新通知あり)の「お知らせアイコン」が表示されます。「」を選択すると、自動更新を設定しているときは更新画面が表示され、自動更新を設定していないときは端末暗証番号入力後に更新画面が表示されます。

電話帳通信履歴表示

お預かりセンターに電話帳やメール、静止画の保存などを行った通信記録をディスプレイに表示します。

1 ▶ 電話帳お預かりサービス▶ 電話帳通信履歴表示

- 最大30件まで保存します。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 一覧画面において通信完了時刻を選択し、を押すと詳細画面に変わります。

電話帳内画像送信設定

お買い上げ時	しない
--------	-----

電話帳に設定している画像をお預かりセンターに保存するかどうかを設定します。

1 ▶ 電話帳お預かりサービス▶ 電話帳内画像送信設定▶ する・しない

お知らせ

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

